

山城エリア MAP 寄り道スポット



1 不動川公園

不動川の清流と緑の竹林に囲まれた公園です。広大な園内には、多目的広場(野球、サッカー等)、テニスコート(2面)、エントランス広場などが設置されています。



2 涌出宮(和伎座天乃夫岐壳神社)

居籠祭(いごもりまつり)は昭和58年(1983)に京都府の無形民俗文化財の第一号で指定され、後昭和61年(1986)に涌出宮の他の宮座行事とともに「涌出宮の宮座行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されています。



3 天神社十三重石塔

境内にある十三重石塔は、重要文化財に指定されています。台石に建治3年(1277)10月3日の刻銘があり、屋根の一部に欠損した部分があるほかは造立当時の姿をよく残しています。



4 椿井大塚山古墳

昭和28年(1953)に邪馬台国女王卑弥呼の鏡といわれる「三角縁神獣鏡」など三十面以上の銅鏡や多くの副葬品が発見されました。古墳時代初頭(三世紀後半)に位置づけられる日本を代表する前方後円墳で、平成12年(2000)国史跡に指定されました。



5 松尾神社

創建は大宝元年(701)といわれています。月読尊(つくよみのみこと)を祀った本殿は、文化五年(1808)に奈良春日大社若宮本殿を移築したもので重要文化財に指定されています。拝殿・表門・境内社御靈神社本殿は京都府登録文化財です。



6 府立山城郷土資料館

恭仁宮跡(国史跡、山城国分寺跡)、高麗寺跡、椿井大塚山古墳などの出土品をはじめ、数多く残る南山城の文化財を中心考古、歴史、民俗、美術工芸の各分野で調査研究し、その成果を体系的に展示、公開している資料館です。



7 高麗寺跡

飛鳥時代から鎌倉時代まで存続し、高句麗(朝鮮半島)からの渡来氏族泊氏の氏寺という説もあります。府内最古の寺院跡の一つです。国史跡に指定されています。

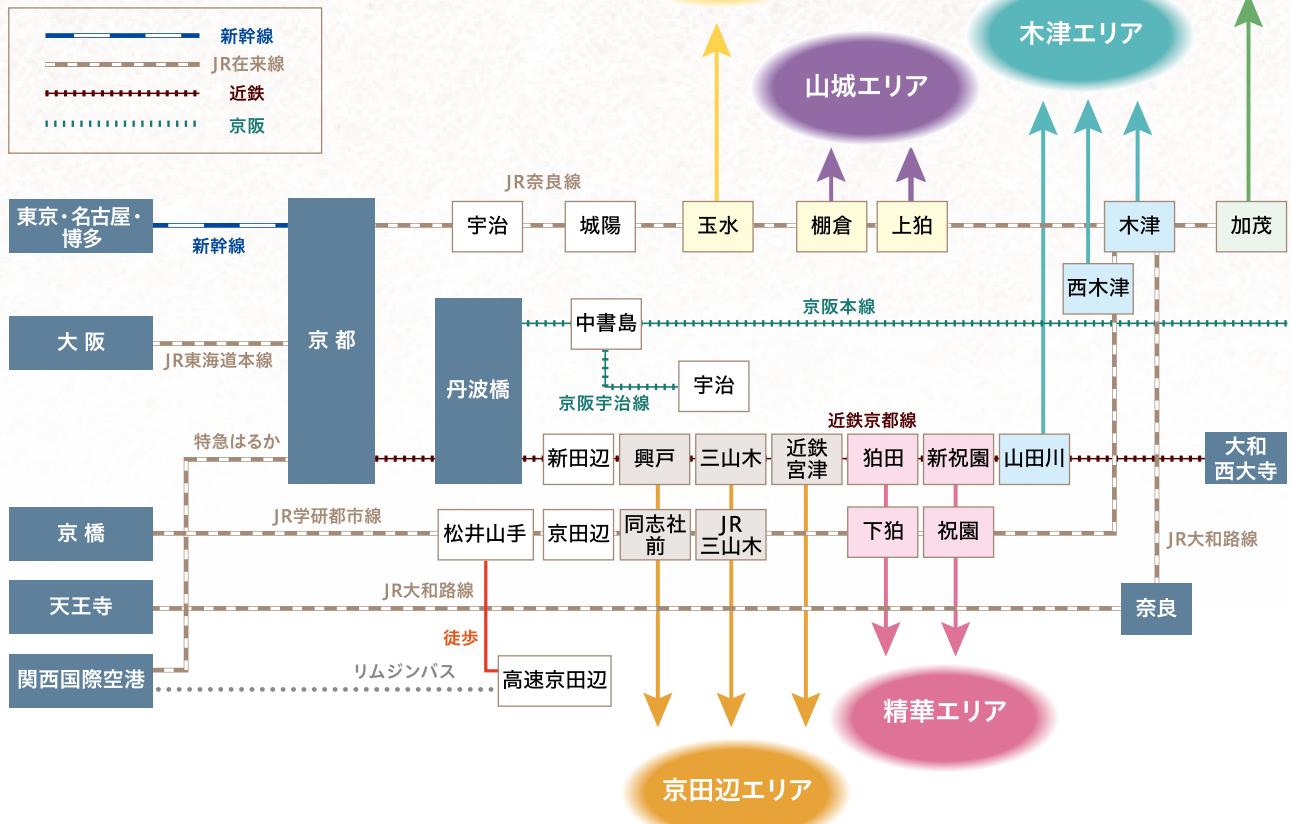


8 上狛茶問屋街

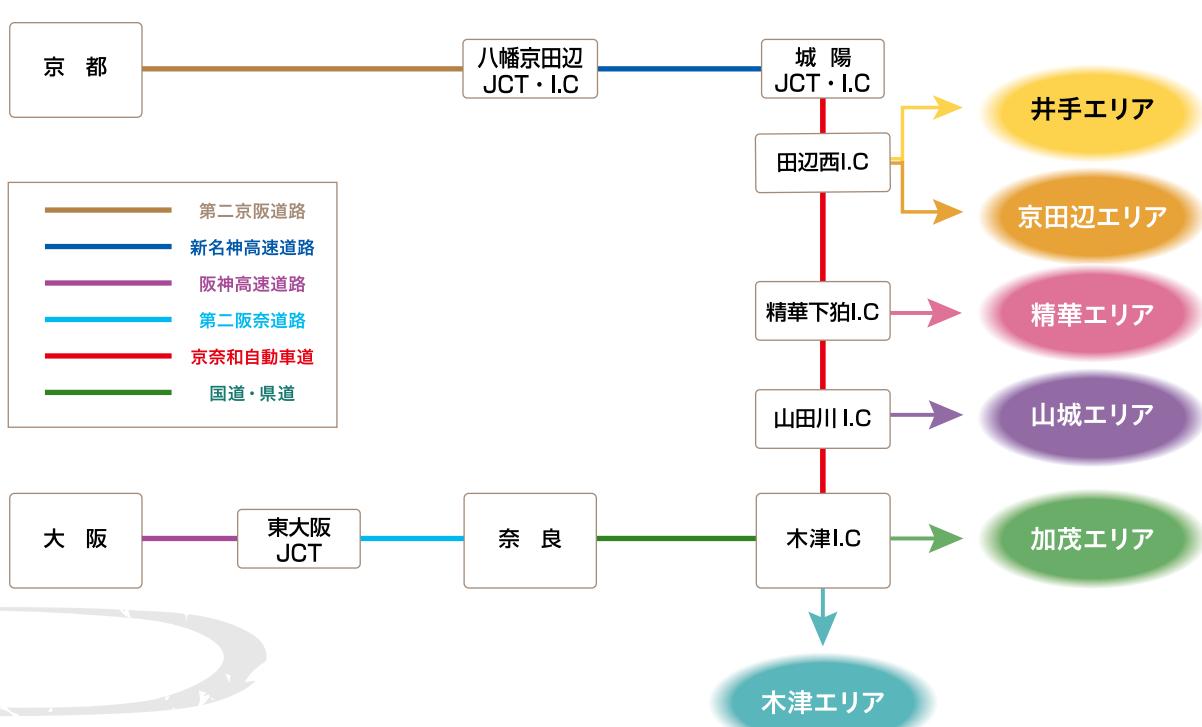
山城茶業之碑が建つ上狛(かみこま)地域の一帯には、今も約30軒の茶問屋が軒を連ねます。茶問屋が並ぶ昔ながらの町の佇まいを楽しみながら、そぞろ歩きしてみてはいかがでしょうか。

南山城への交通アクセス

鉄道をご利用の場合



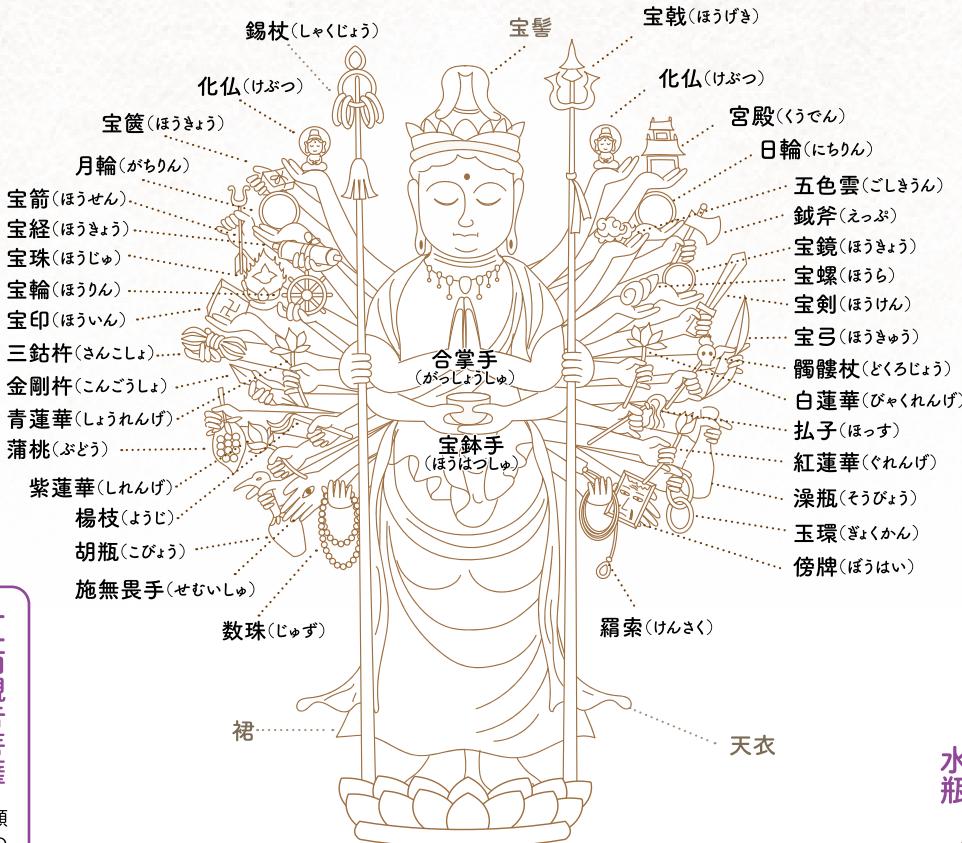
お車をご利用の場合



観音様のいろいろ

観音菩薩は三十三の姿に変え、人々を心の悩みや苦しみから救うという教えがあります
南山城三十三所には、聖観音、十一面觀音、不空羂索觀音、千手觀音、馬頭觀音の
觀音菩薩がおられます。

千手觀音のファッション & 主な持ち物



十一面觀音菩薩

お顔の上にたくさんの顔があり、これは360度のあらゆる方角を見守り、人々のどんな苦難も見逃さないという意味です。



ありがたいお水が入っています

豆知識用語いろいろ

【持物】(じもつ)
仏像が手に持っている物。その諸尊の中にはなんでも願いをかなえてくれる「功德水」(くどくすい)という使ったくならないありがたい水が入っているといいます。

【巡錫】(じゅんしゃく)
錫杖(しゃくじょう)をたずさえて巡回する意。僧が各地をめぐり歩いて教説をひろめること。

【錫杖】(しゃくじょう)
悪いものを退散させる杖のこと。上部についた輪を鳴らしながら歩きます。錫杖は常に淨手(右手)に持ち不淨手(左手)に持つことを禁止されています。

【縁起】(えんぎ)
寺社の創建の由来、功德などについての伝承や、またそれを書いた書物・絵。

【散華】(さんげ)
仏を讃(たた)え供養(くよう)するために花を散布すること。

【梵鐘】(ぼんしょう)
寺院で鐘楼につり下げ、撞木(しゆもく)でつき鳴らす鐘。音が大きいことから鯨鐘(げいしょう)、洪鐘などともいいます。

【勅願】(ちよくがん)
天子の命令による祈願。天皇の祈願。また、それに基づいて建立された寺社。

【廢仏毀釈】(はいぶつきしゃく)
仏教を排斥し、寺などを壊すこと。明治維新的神仏分離によって起こった仏教破壊運動。

【ご詠歌】(ごえいか)
巡礼や浄土宗の信者などが仏の徳などをたたえて唱える歌。短歌や和讃(わさん)に節をつけたもので、一般に鈴や鉦(かね)に合わせて詠吟される。巡礼歌(じゅんれい)。

【七堂伽藍】(しちどうがらん)
お堂などの諸設備がすべて調ていることを表します。一般的には、山門、本堂、講堂、庫裏、食堂、浴室、東司塔などを指します。

【什物】(じゅうもつ)
寺院所有の器物、代々伝わる宝物、秘蔵の宝、什宝。

暴悪大笑面



十一面觀音の真後ろのお顔は「暴悪大笑面」。煩惱だらけの人間を怒りを通り越して笑う様子を表現しています。

合掌印

仏教では印相のひとつです。『大日經』という仏教の經典では、合掌は12種類あるといわれます。





歩くのもおすすめ

各市町のボランティアガイドクラブや観光協会では、個人・団体のボランティアガイドによる観光案内の申込受付を行っています。南山城三十三所観音巡礼に関する伝承や地域の魅力をより詳しく知ることができるのはボランティアガイドによる観光案内を希望される方は、下記に掲載している各団体へお問合せください。

※日程によってはお受けできない場合があります。またガイド料金は各団体により異なります。

歩いて知ろう！「お茶の京都」

美しい茶畑が広がる京都府南部・山城地域。かつて南山城三十三所観音巡礼が行われたこの地域は、約800年にわたり、日本のお茶のトップブランド「宇治茶」を生み出してきました。

日本のお茶の歴史やお茶文化をより身近に感じていただきたい。そんな思いで、「この地域を「お茶の京都」と名付け、現地でのイベントや交流などの情報をWEBサイトで発信しています。

「お茶の京都」<https://ochanokyoto.jp>



ボランティアガイドクラブ・観光協会

[京田辺市] 京田辺市観光ボランティアガイド協会 TEL:0774-68-2801
(一般社団法人 京田辺市観光協会内)

[木津川市] NPO法人ふるさと案内・かも
山城町ふるさと案内人の会 TEL:0774-76-3989
木津川市歴史学習会 TEL:0774-39-8191 (木津川市観光協会)
TEL:0774-39-8191 (木津川市観光協会)

[井手町] 井手町ふるさとガイドボランティアの会 TEL:0774-82-5700
(井手町教育委員会 社会教育課内)

[精華町] NPO法人精華町ふるさと案内人の会 TEL:090-8877-4991

主な協力先（順不同・敬称略）

京田辺市観光ボランティアガイド協会／京田辺市観光協会／京田辺市産業振興課／京田辺市文化・スポーツ振興課／NPO法人ふるさと案内・かも／山城町ふるさと案内人の会／木津川市歴史学習会／木津川市観光協会／木津川市観光商工課／木津川市教育委員会／井手町ふるさとガイドボランティアの会／井手町産業環境課／井手町教育委員会／NPO法人精華町ふるさと案内人の会／精華町産業振興課／精華町教育委員会／京都府立山城郷土資料館／山城町・古文書サークル如月会／京都南山城古寺の会／株式会社飛鳥園

主な参考資料

山城町・古文書サークル如月会『江戸時代の南山城三十三所を訪ねて』(1996年)

その他の参考資料

精華町『精華町の寺社と美術』(1986年)／京田辺市教育委員会『京田辺市の仏像』(2016年)／精華町文化財愛護会『精華町文化財宝典』(2018年)／一般社団法人木津川市観光協会『美仏の宝庫』(2020年)

編集・発行

お茶の京都 DMO (一般社団法人 京都山城地域振興社)

京都府宇治市宇治乙方 7-13 京阪宇治ビル 1F

TEL:0774-25-3239 MAIL:dmo@ochanokyoto.jp

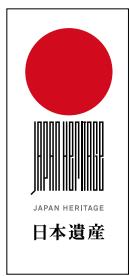
「お茶の京都」で検索 <https://ochanokyoto.jp/>

編集協力：海住山寺住職 佐脇貞憲

●本記載内容は、山城町・古文書サークル如月会発行『江戸時代の南山城三十三所を訪ねて』をベースに、2022年3月時点に追加取材・調査したものです。内容が変更となる場合があります。●新型コロナウイルス等の影響により、掲載内容が変更になる場合があります。



▲本書の内容
はQRコードより
ホームページ
からでもご覧
いただけます。



※QRコードは(株)デンソーウエーブの登録商標です